

1. 授業の概要(ねらい)

企業に求められているCSR、SDGs、ESGに関する学習を通じて、サステナブルな社会を作っていくためには何が必要かを学習します。

春期は主にCSR、SDGs、ESGに関する基本的なフレームワークを中心に学習します。秋期は企業のCSR活動の具体的な事例なども学習しながら理解を深めていきます。

授業でとりあげたテーマについて、具体的な企業の事例などを調べていただいて、数分程度のプレゼンテーションをしてもらいます(各期6-7回を想定)。また、日本経済新聞などからテーマにあった題材を適宜紹介してディスカッションを行います。

(注)CSR (Corporate Social Responsibility、企業の社会的責任)、SDGs (Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標)、ESG (Environment(環境)、Social(社会)、Governance(ガバナンス))

2. 授業の到達目標

CSR、SDGs、ESGに関する基本的事項について説明できる
ソーシャルビジネス、人権などについて理解する
具体的な事例を通じて企業の活動を理解する

3. 成績評価の方法および基準

中間テスト30%、期末テスト50%、課題提出および授業中のディスカッションへの参加状況20%

4. 教科書・参考文献

参考文献

CSR検定委員会『CSR検定3級公式テキスト 2021年版』株式会社オルタナ

駒崎弘樹『社会を変えたい人のためのソーシャルビジネス入門』PHP新書

5. 準備学修の内容

新聞、雑誌などに記載されているCSR、SDGs、ESGに関する記事に興味をもち理解すること

「CSR検定3級公式テキスト2021年版」は出版社(オルタナ)もしくはアマゾンでないと購入できないようです

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション。1960年代以降の日本経済の概観(オンライン授業)
- 【第2回】 日本経済の課題: 少子高齢化、財政赤字、低成長、地域経済、国際収支について理解を深めます
- 【第3回】 CSR(企業の社会的責任)の目的、歴史など基本的事項について学習します
- 【第4回】 トリプルボトムライン、国連グローバルコンパクト、CSV(Creating Shared Value)経営などの考え方について学習します
- 【第5回】 ISO26000(社会的責任に関する手引き)について学習します(オンライン授業)
- 【第6回】 NPOの活動や役割について学習します
- 【第7回】 コーポレートガバナンスとCSRの関係について学習します
- 【第8回】 まとめと中間テスト
- 【第9回】 SDGsについて学習します
- 【第10回】 ESG投資1: 資本市場の枠組みについて学習します
- 【第11回】 ESG投資2: 責任投資原則、スチュワードシップコードについて学習します
- 【第12回】 ESG投資3: ESG投資、GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)の役割について学習します
- 【第13回】 環境(E): 気候変動関連のテーマ(パリ協定、TCFD(気候関連財務情報開示タスク)、グリーンボンドなど)について学習します
- 【第14回】 社会(S): 多様性、働き方改革、人権などについて学習します
- 【第15回】 まとめと期末テスト